

設計図書等に対する質問及び回答

入札番号 施18

工事名 皆生浄化センター送泥管洗浄ポンプ更新工事

| 番号 | 質問内容 | 頁 | 回答 |
|----|---|------------------|--|
| 1 | ポンプ軸封水の配管更新は含まれますでしょうか。 | M-2 | 含まれています。ただし、新設ポンプに接続する部分の配管のみとします。 |
| 2 | 1. にて含まれるのであれば流量計、ストレーナ、弁類、電磁弁、減圧弁、サポートは既設流用としてよろしいでしょうか。 | M-2 | 既設流用とします。 |
| 3 | ポンプ吐出側圧力計は既設流用としてよろしいでしょうか。 | M-2 | 既設流用とします。 |
| 4 | 輸送費の単価が特定できません。参考資料または単価を御教授下さい。また、準備費の運搬費についても特定できないため、同様に御教授下さい。 | 工事費内訳書 2項、10項 | 輸送費については、製作工場から皆生浄化センターまでを見込んでください。準備費の運搬費については、「施工条件明示事項」に想定距離を記載していますので確認ください。 |
| 5 | 送泥管洗浄ポンプの既設と新設の重量が不明のため、それぞれ御教授下さい。 | | 既設重量：1,150kg 新設参考重量：2,000kg |
| 6 | 積算基準の適用年度と適用単価年月を御教授下さい。 | | 積算基準は令和元年度、適用単価年月は令和2年6月単価を適用。 |
| 7 | 仮設費（積上げ）架台設置とありますが、図面や特記仕様書等に記載がないため、用途、規模、材質等が不明です。見込まれている内訳を御教授下さい。 | 工事費内訳書3項 | 搬入時の架台を想定しています。搬入は、発注図M-5の1階ブロワ室平面図の機器搬入口（X13通り、Y5通り付近）から搬入を想定しています。 |
| 8 | 電工（撤去）の対象となるケーブルと電線管の規格毎の撤去数量を御教授下さい。 | 工事費内訳書7項 | 発注図M-5に記載があります。 |

| | | | |
|----|--|---------------|---|
| 9 | ケーブルの撤去・敷設について、ケーブルダクト部分とケーブルラック部分の数量をそれぞれ御教授下さい。 | | 同上 |
| 10 | 配管接続・撤去の対象となる配管について、見込まれている規格毎の数量を御教授下さい。 | 工事費内訳書 9項 | 発注図M-2に記載があります。また、軸封水配管の接続を含んでいます。 |
| 11 | ブロワ室において、汚泥濃縮設備が稼働しているため、濃縮設備の稼働に支障をきたさないよう施工すること。との記載がありますが、施工に関し制約がある場合は、施工条件をご教授下さい。 | 特記事項 1. 工程 | 送泥管洗浄ポンプが設置している地下へ濃縮設備の仮設ホースが設置してあるため、機器搬入時には注意をしてください。 |
| 12 | ポンプ更新に伴い、電動機出力が変更（65kW→75kW）になるため、動力ケーブルの再選定を行うこと。との記載がありますが、ケーブル太さの変更により、コントロールセンターとの取り合いの調整や、洗浄ポンプ操作盤の改造は必要になりますでしょうか？ | 図面 図盤M-4 | コントロールセンターの端子台との取り合いは調整が必要です。操作盤の改造は想定していません。 |
| 13 | 本工事のポンプはフライホイール付となるためフライホイールの計算等が必要になり、対応可能なポンプの選定・見積りに時間がかかります。現在想定されているメーカー名と型式を御教授下さい。 | | 既設は荏原製作所製です。新設ポンプは製作者を指定しません。仕様は仕様書のとおり。 |